



# 管理ツール

---

この章では、Cisco Unity Connection を管理するためのさまざまなツールとユーティリティについて簡単に説明し、これらにアクセスする手順を示します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Bulk Administration Manager \(P.1-2\)](#)
- [Bulk Edit ユーティリティ \(P.1-2\)](#)
- [Cisco Unity Connection Administration \(P.1-3\)](#)
- [Server Status ユーティリティ \(P.1-3\)](#)
- [Custom Key Map ツール \(P.1-3\)](#)
- [Disaster Recovery ツール \(P.1-4\)](#)
- [Port Status Monitor \(P.1-4\)](#)
- [Port Usage Analyzer \(P.1-5\)](#)
- [Remote Serviceability Kit \(P.1-5\)](#)
- [Tools Depot \(P.1-6\)](#)
- [Cisco Voice Technology Group Subscription ツール \(P.1-6\)](#)

## Bulk Administration Manager

Cisco Unity Connection Bulk Administration Manager では、カンマ区切り形式（CSV）ファイルに含まれている情報をインポートすることによって、複数のユーザアカウントやシステム担当者を同時に作成、更新、および削除できます。また、ユーザやシステム担当者の情報を Cisco Unity Connection から CSV ファイルにエクスポートすることもできます。

### Bulk Administration Manager にアクセスする

---

- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバのデスクトップで、**[Cisco Unity Tools Depot]** アイコンをダブルクリックします。
  - ステップ 2** [Tools Depot] ウィンドウの左ペインで、**[Administration Tools]** を展開します。
  - ステップ 3** **[Bulk Administration Manager]** をダブルクリックします。
- 

ツールの使用方法については、Bulk Administration Manager のヘルプを参照してください。

## Bulk Edit ユーティリティ

Bulk Edit ユーティリティを使用すると、多数のユーザやコールハンドラを選択して、それらのすべてにすばやく簡単に変更を加えることができます。

### Bulk Edit ユーティリティにアクセスする

---

- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバのデスクトップで、**[Cisco Unity Tools Depot]** アイコンをダブルクリックします。
  - ステップ 2** [Tools Depot] ウィンドウの左ペインで、**[Administration Tools]** を展開します。
  - ステップ 3** **[Bulk Edit]** をダブルクリックします。
- 

ユーティリティの使用方法については、Bulk Edit のヘルプを参照してください。

## Cisco Unity Connection Administration

Cisco Unity Connection Administration は、ユーザ設定の指定や通話管理計画の実装など、ほとんどの管理タスクの実行に使用する Web アプリケーションです。

Cisco Unity Connection Administration へのアクセスと使用方法については、付録「[Cisco Unity Connection Administration へのアクセスと使用方法](#)」を参照してください。

## Server Status ユーティリティ

Cisco Unity Connection Server Status ユーティリティを使用すると、Cisco Unity Connection サーバのステータスを監視し、サーバのロールを管理し、ボイス メッセージ ポートを監視することができます。

### Server Status ユーティリティを起動する

- 
- ステップ 1** Windows の [スタート] メニューで、[プログラム] > [Cisco Unity] > [Cisco Unity Connection Server Status] をクリックします。
- 

ユーティリティの使用方法については、Server Status のヘルプを参照してください。

## Custom Key Map ツール

Custom Key Map ツールを使用すると、Custom Keypad Mapping ガイダンスに関連付けられているキー マッピングを編集できます。このガイダンスは、Cisco Unity Connection Administration でユーザに割り当てることができます。

### Custom Key Map ツールにアクセスする

- 
- ステップ 1** Windows の [スタート] メニューで、[すべてのプログラム] > [Cisco Unity] > [Custom Key Map] をクリックします。
- 

ツールの使用方法については、P.10-9 の「[Custom Key Map ツールの使用方法](#)」および Custom Key Map ツールのヘルプを参照してください。

## Disaster Recovery ツール

Cisco Unity Connection Disaster Recovery Backup ツールは、すべての Connection 固有データをサーバからキャプチャして、Cisco Unity Connection Disaster Recovery Restore ツールを使用して復元できるようにします。Disaster Recovery Backup ツールは、移行を実施する場合や、定期的バックアップを使用して障害から復旧する場合に便利です。

### Disaster Recovery Backup ツールにアクセスする

- 
- ステップ 1** Windows の [スタート] メニューで、[すべてのプログラム] > [Cisco Unity] > [Cisco Unity Connection DiRT Backup] をクリックします。
- 

ツールの使用方法については、Disaster Recovery Backup のヘルプを参照してください。

### Disaster Recovery Restore ツールにアクセスする

- 
- ステップ 1** Windows の [スタート] メニューで、[すべてのプログラム] > [Cisco Unity] > [Cisco Unity Connection DiRT Restore] をクリックします。
- 

ツールの使用方法については、Disaster Recovery Restore のヘルプを参照してください。

## Port Status Monitor

Port Status Monitor を使用すると、Cisco Unity Connection ボイス メッセージ ポートのアクティビティをリアルタイムで監視できます。

### Port Status Monitor にアクセスする

- 
- ステップ 1** Windows の [スタート] メニューで、[プログラム] > [Cisco Unity] > [Port Status Monitor] をクリックします。
- 

ツールの使用方法については、Port Status Monitor のヘルプを参照してください。

## Port Usage Analyzer

Port Usage Analyzer は、Cisco Unity Connection サーバで発生するコール トラフィックの負荷を適切に把握するために設計された、4 つのレポートを組み合わせたものです。

### Port Usage Analyzer にアクセスする

- 
- ステップ 1** Windows の [スタート] メニューで、[プログラム] > [Cisco Unity] > [Port Usage Analyzer] をクリックします。
- 

ツールの使用方法については、Port Usage Analyzer のヘルプを参照してください。

## Remote Serviceability Kit

Remote Serviceability Kit は、SNMP、SysLog、および Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル) のサポートを Cisco Unity Connection に追加します。RSK のインストールと設定を完了したら、シスコシステムズの IP Communications Operations Manager のようなネットワーク管理システムを使用して、システムのさまざまな面をリモートで監視することができます。

Remote Serviceability Kit のインストールと設定を行う際は、次の点を考慮してください。

- 事前に Microsoft SNMP Service をインストールしておく必要があります。
- 事前に Cisco Unity Event Monitoring Service をインストールしておくことをお勧めします。これは、[http://www.ciscounitytools.com/App\\_EMS.htm](http://www.ciscounitytools.com/App_EMS.htm) から入手可能です。

### Remote Serviceability Kit のインストールと設定を行う

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバのデスクトップで、[Cisco Unity Tools Depot] アイコンをダブルクリックします。
- ステップ 2** [Tools Depot] ウィンドウの左ペインで、[Diagnostic Tools] を展開します。
- ステップ 3** [Remote Serviceability Kit Configuration Wizard] をダブルクリックします。
- ステップ 4** 画面の指示に従います。
- 

Remote Serviceability Kit の使用方法については、Remote Serviceability Kit のヘルプを参照してください。

## Tools Depot

Cisco Unity Tools Depot は、さまざまなシステム管理、オーディオ管理、診断、レポート、および電話システム連動の機能を実行するユーティリティの集合です。

### Tools Depot にアクセスする

**ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバのデスクトップで、**[Cisco Unity Tools Depot]** アイコンをダブルクリックします。

または、次の手順に従います。

Windows の [スタート] メニューで、**[すべてのプログラム] > [Cisco Unity] > [Cisco Unity Tools Depot]** をクリックします。

Tools Depot の左ペインに、使用可能なすべてのユーティリティがカテゴリ別に表示されます。

**ステップ 2** ユーティリティを実行するには、左ペインにあるユーティリティ名をダブルクリックします。

ユーティリティの使用方法については、各ツールのヘルプを参照してください（左ペインのユーティリティ名をクリックします）。

Tools Depot のほとんどのユーティリティは、Cisco Unity Tools Web サイト (<http://ciscounitytools.com>) でも入手することができます。このサイトでは、Cisco Unity Connection の各リリース公開後の、ユーティリティに対するアップデートが頻繁に公開されます。Connection サーバがインターネットに接続されている場合は、Cisco Unity Tools Web サイトで入手できる Tools Depot ユーティリティを実行すると、アップデートされたバージョンを入手できるかどうか自動的に確認されます。Connection サーバがインターネットに接続されていない場合は、Cisco Unity Tools Web サイトを参照して、ユーティリティの新しいバージョンを入手できるかどうか確認することをお勧めします。

サインアップしておくことで、Cisco Unity Tools Web サイトで公開されているユーティリティがアップデートされたときに通知を受け取ることができます。<http://ciscounitytools.com> に移動して、**[Sign Up Here]** をクリックしてください。

## Cisco Voice Technology Group Subscription ツール

Cisco Voice Technology Group Subscription ツールを使用すると、Cisco Unity Connection ソフトウェアのアップデートが入手可能になったときに電子メールで通知を受けることができます。登録するには、<http://www.cisco.com/cgi-bin/Software/Newsbuilder/Builder/VOICE.cgi> の **[Cisco Voice Technology Group Subscription Tool]** ページに移動します。